

## 2 市町別人口

### (1) 総人口

推計人口を市町別にみると、浜松市が 779,780 人で最も多く、次いで静岡市の 677,286 人と続き、この両市で県人口の 41.0%を占めている。

前年に比べ人口が増加した市町はなく、人口が減少した 35 市町のうちで、減少数は静岡市の 6,072 人が最も多く、減少率では西伊豆町の 3.61%が最も高くなっている。

図 7 市町別人口増減率（令和 5 年 10 月 1 日現在 対前年比）

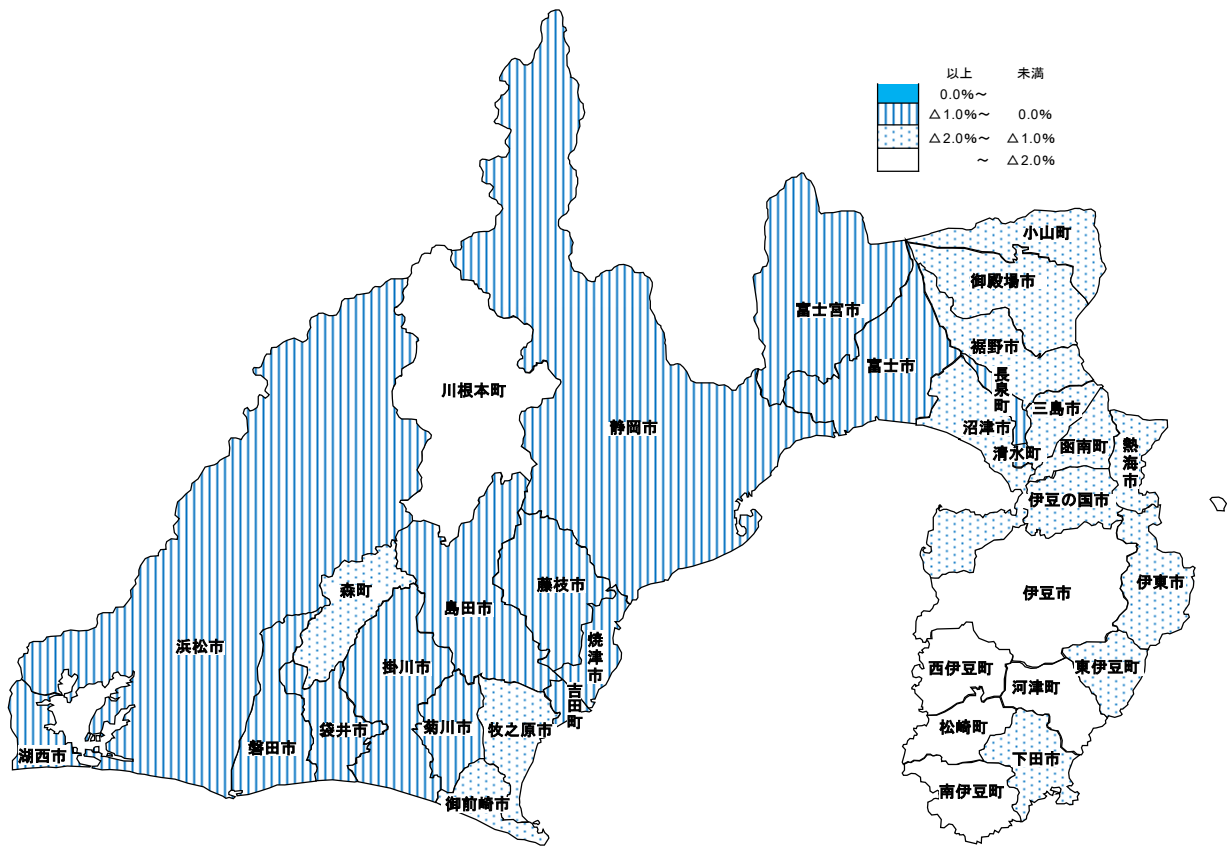


表 3 人口増減の大きい市町

増加数 (人)		増加率 (%)		順位	減少数 (人)		順位	減少率 (%)			
増加した市町なし		増加した市町なし		1	静岡市	6,072	1	1	西伊豆町	3.61	2
				2	浜松市	3,793	2	2	河津町	3.07	4
				3	沼津市	1,916	3	3	南伊豆町	2.75	8
				4	富士市	1,477	4	4	川根本町	2.56	1
				5	藤枝市	1,304	6	5	伊豆市	2.31	9
				6	御殿場市	1,271	5	6	松崎町	2.13	3
				7	富士宮市	1,261	9	7	下田市	2.00	7
				8	三島市	1,187	8	8	小山町	1.85	11
				9	焼津市	992	14	9	熱海市	1.79	5
				10	伊東市	889	10	10	御殿場市	1.51	12
※当年増加市町数 0											
※前年増加市町数 3											

(注) 内の数字は前年の順位

(2) 自然動態

前年に比べ自然動態が増加した市町はなく、人口が減少した 35 市町のうちで、減少数は静岡市が 5,675 人で最も多く、減少率では西伊豆町が 2.64% で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数 (人)		順位	増加率 (%)		順位	減少数 (人)		順位	減少率 (%)			
	増加した市町なし			増加した市町なし		1	静岡市	5,675	1	1	西伊豆町	2.64	1
						2	浜松市	4,871	2	2	川根本町	2.34	3
						3	沼津市	1,988	3	3	熱海市	2.33	4
						4	富士市	1,668	4	4	松崎町	2.22	2
						5	伊東市	1,126	5	5	河津町	2.19	6
						6	富士宮市	1,091	8	6	南伊豆町	2.16	7
						7	藤枝市	1,009	7	7	東伊豆町	2.09	5
						8	磐田市	1,005	6	8	伊豆市	1.94	10
						9	焼津市	989	9	9	下田市	1.87	9
						10	三島市	859	12	10	伊東市	1.76	8
※当年増加市町数 0													
※前年増加市町数 0													

(注) 内の数字は前年の順位

(3) 社会動態

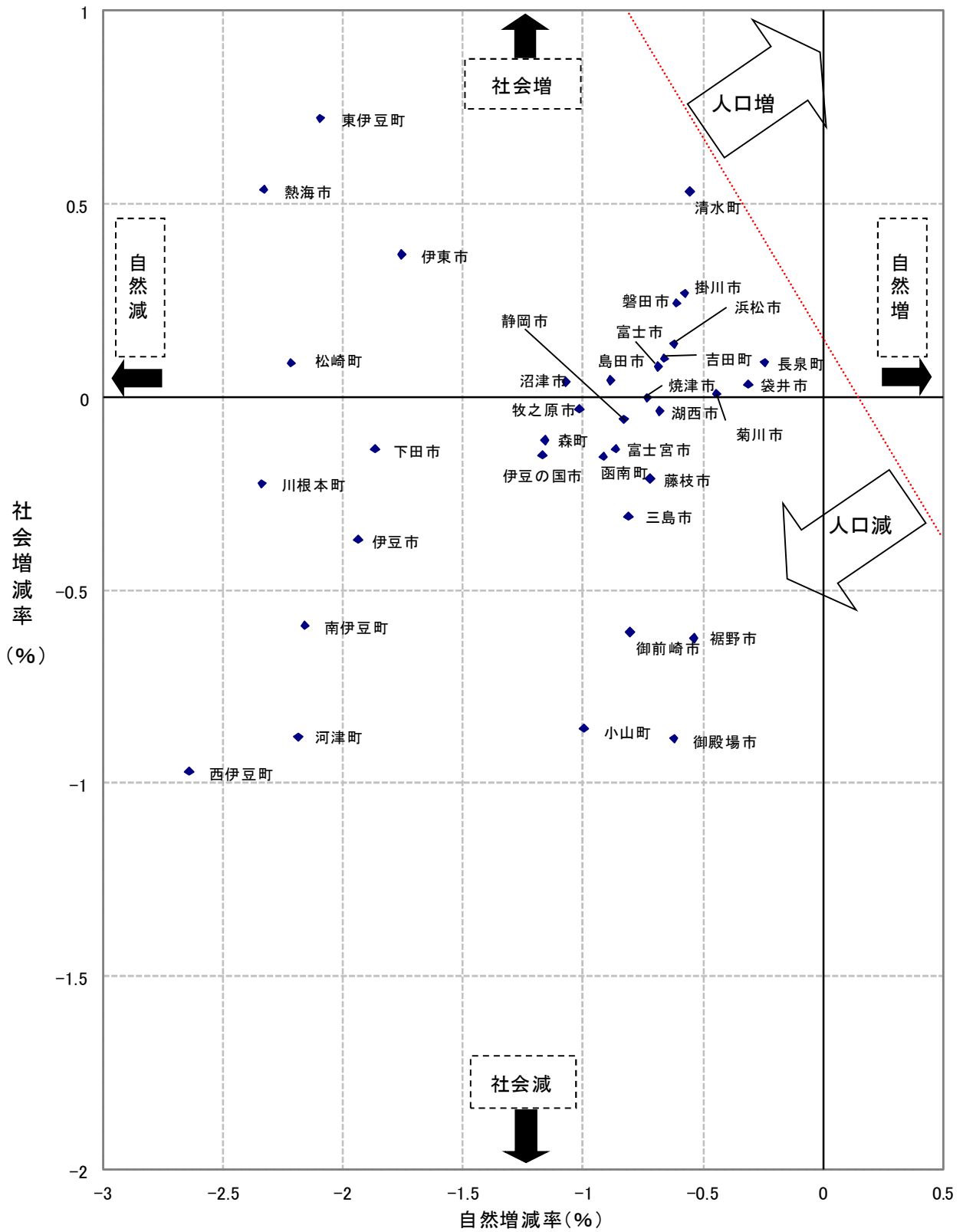
15 市町で増加し、増加数は浜松市が 1,078 人で最も多く、増加率は東伊豆町が 0.72% で最も高くなっている。一方、20 市町で減少となり、減少数は御殿場市が 747 人で最も多く、減少率では西伊豆町が 0.97% で最も高くなっている。

表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数 (人)		順位	増加率 (%)		順位	減少数 (人)		順位	減少率 (%)					
1	浜松市	1,078	2	1	東伊豆町	0.72	18	1	御殿場市	747	1	1	西伊豆町	0.97	5
2	磐田市	400	-	2	熱海市	0.54	14	2	静岡市	397	3	2	御殿場市	0.89	2
3	掛川市	305	-	3	清水町	0.53	12	3	三島市	328	4	3	河津町	0.88	9
4	伊東市	237	3	4	伊東市	0.37	3	4	裾野市	309	2	4	小山町	0.86	6
5	富士市	191	-	5	掛川市	0.27	-	5	藤枝市	295	5	5	裾野市	0.62	3
6	熱海市	176	14	6	磐田市	0.24	-	6	御前崎市	183	6	6	御前崎市	0.61	7
7	清水町	167	13	7	浜松市	0.14	13	7	富士宮市	170	-	7	南伊豆町	0.59	-
8	東伊豆町	80	18	8	吉田町	0.10	2	8	小山町	155	7	8	伊豆市	0.37	-
9	沼津市	72	11	9	長泉町	0.090	7	9	伊豆市	101	-	9	三島市	0.31	10
10	島田市	41	4	10	松崎町	0.088	-	10	伊豆の国市	69	-	10	川根本町	0.23	1

(注) 内の数字は前年の順位 (「-」は減から増、増から減へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



#### (4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の15.21%、最も低いのは西伊豆町の5.19%で、その差は10.02ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の62.08%、最も低いのは西伊豆町の40.71%で、その差は21.37ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の54.10%、最も低いのは長泉町の22.71%で、その差は31.39ポイントとなっている。

表 6 市町別年齢構成割合

##### (1) 上位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	長泉町	15.21	1	1	長泉町	62.08	1	1	西伊豆町	54.10	1
2	袋井市	13.83	2	2	吉田町	61.31	2	2	川根本町	51.71	2
3	菊川市	13.27	3	3	清水町	60.91	3	3	松崎町	50.88	3
4	掛川市	13.11	4	4	御殿場市	60.73	4	4	南伊豆町	50.83	4
5	裾野市	12.401	5	5	袋井市	60.58	5	5	熱海市	49.10	5
6	磐田市	12.396	6	6	湖西市	60.04	6	6	東伊豆町	49.09	6
7	浜松市	12.27	7	7	裾野市	58.85	7	7	伊東市	44.83	7
8	藤枝市	12.220	9	8	富士市	58.76	8	8	河津町	44.30	8
9	清水町	12.219	11	9	浜松市	58.56	9	9	伊豆市	44.11	9
10	御殿場市	12.15	8	10	菊川市	58.53	10	10	下田市	43.39	10

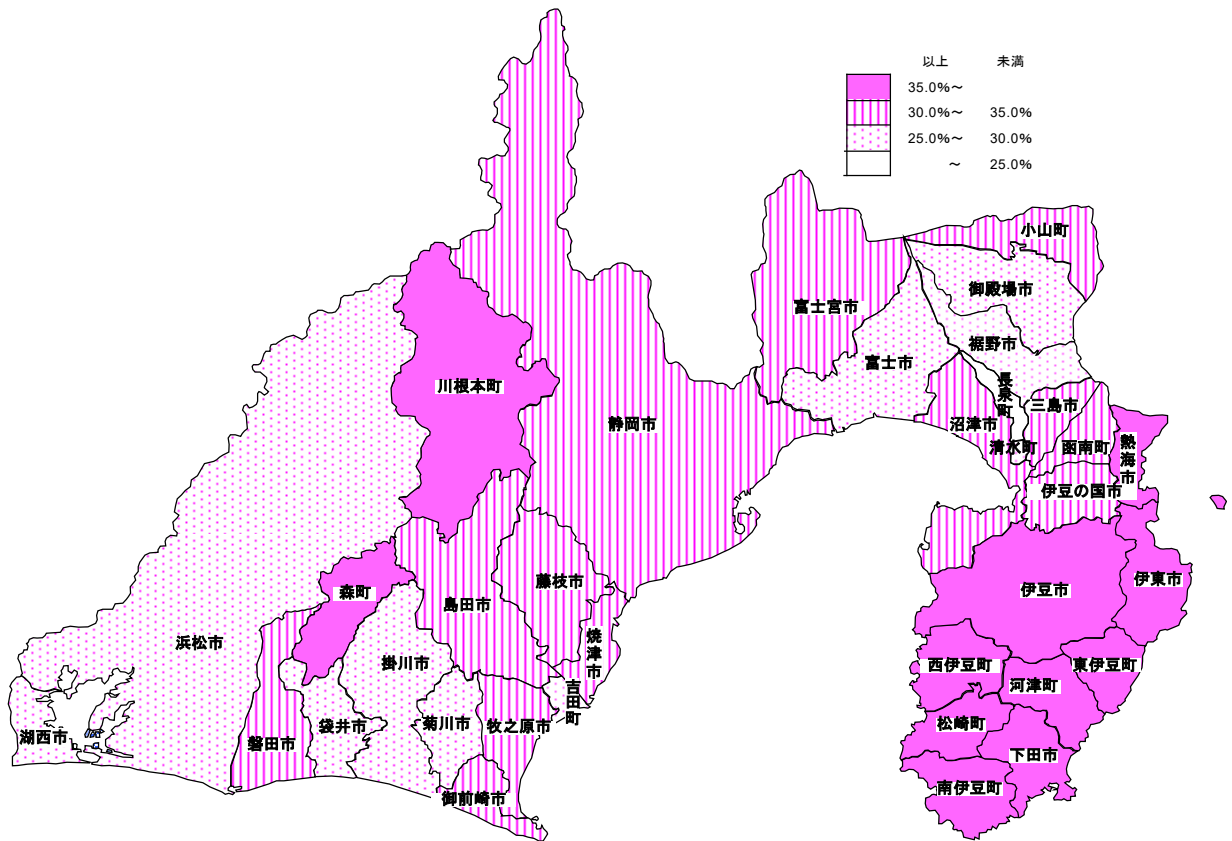
##### (2) 下位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	西伊豆町	5.19	2	1	西伊豆町	40.71	1	1	長泉町	22.71	1
2	熱海市	5.34	1	2	南伊豆町	41.61	2	2	袋井市	25.59	2
3	東伊豆町	5.62	3	3	川根本町	42.04	3	3	清水町	26.87	5
4	川根本町	6.26	4	4	松崎町	42.52	4	4	吉田町	27.02	3
5	松崎町	6.60	5	5	東伊豆町	45.30	5	5	御殿場市	27.12	4
6	南伊豆町	7.56	6	6	熱海市	45.56	6	6	菊川市	28.20	6
7	伊東市	7.62	7	7	伊東市	47.55	7	7	裾野市	28.75	7
8	伊豆市	7.77	8	8	河津町	47.71	8	8	湖西市	28.83	8
9	下田市	7.97	9	9	伊豆市	48.12	9	9	掛川市	29.15	10
10	河津町	7.99	10	10	下田市	48.64	10	10	浜松市	29.17	9

(注) ■内の数字は前年の順位

図 9 市町別老年人口割合（令和5年10月1日現在）



(5) 平均年齢

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

平均年齢が最も高いのは、西伊豆町の61.44歳、最も低いのは長泉町の44.62歳で、その差は16.82歳となっている。

順位	高い市町	順位	低い市町
1	西伊豆町 61.44	1	長泉町 44.62
2	川根本町 60.82	2	袋井市 45.73
3	松崎町 60.14	3	菊川市 46.95
4	熱海市 59.53	4	吉田町 47.16
5	東伊豆町 59.44	5	御殿場市 47.23
6	南伊豆町 59.35	6	清水町 47.54
7	伊東市 56.98	7	掛川市 47.84
8	河津町 56.77	10	裾野市 47.90
9	伊豆市 56.58	9	浜松市 48.22
10	下田市 56.47	8	磐田市 48.26

(注) 内の数字は前年の順位

### 3 地域圏別年齢構成割合

令和5年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の12.41%、最も低いのは「伊豆半島地域」の9.33%となっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは「西部地域」の58.43%、最も低いのは「伊豆半島地域」の53.48%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の37.19%、最も低いのは「西部地域」の29.16%となっている。

また、老年人口割合を平成17年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は13.53ポイント増、「東部地域」は11.33ポイント増、「中部地域」は10.23ポイント増、「西部地域」は9.47ポイント増となっている。

なお、県全体では10.49ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移

図10-1

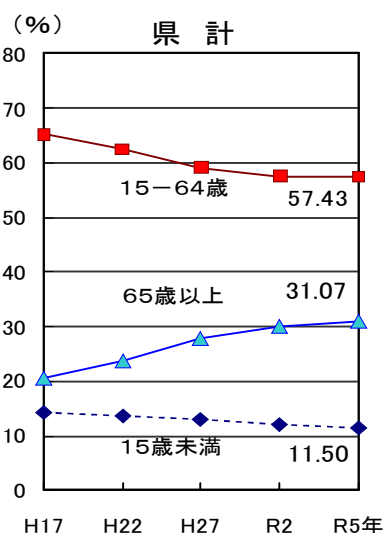


図10-2

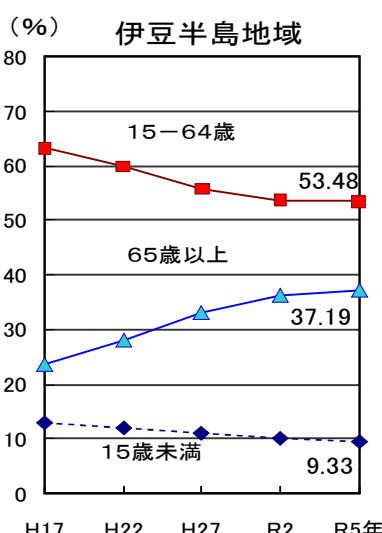


図10-3

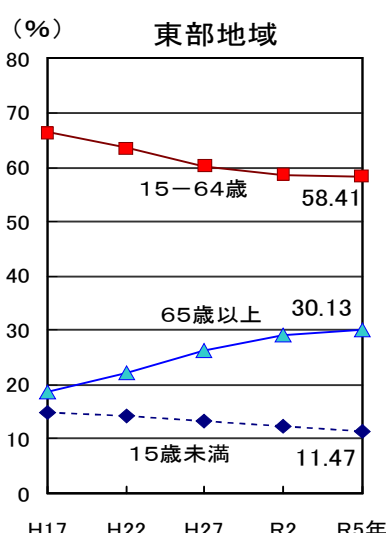


図10-4

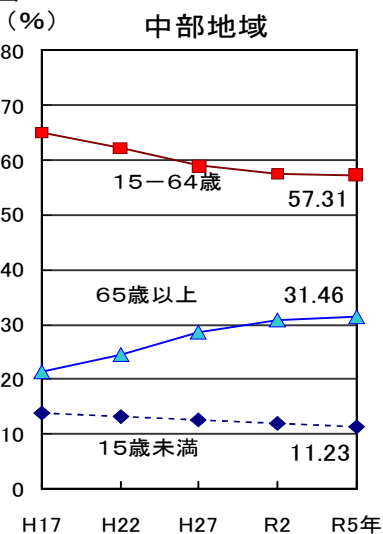
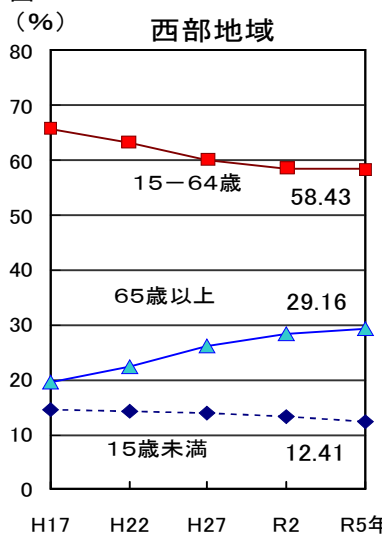


図10-5



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

## 4 外国人人口

### (1) 総人口

令和5年10月1日現在の本県の外国人人口は、99,004人で前年に比べ7,636人増加し、増加率は8.36%となっている。

男女別にみると、男48,657人、女50,347人で、性比は96.64となっている。

本県の総人口に占める割合は、2.79%で、前年より0.24ポイント増加した。

表 8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
元年	82,785	40,688	42,097	10.73	2.27
2年	86,046	41,902	44,144	3.94	2.37
3年	85,445	41,535	43,910	-0.70	2.37
4年	91,368	44,646	46,722	6.93	2.55
5年	99,004	48,657	50,347	8.36	2.79

※令和2年の人口は、国勢調査の確定値。

※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

### (2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の25,099人が最も多く、外国人人口全体の25.35%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは34市町で、増加数では浜松市の1,738人が最も多くなっている。

一方、前年に比べ減少した市町は河津町の1町のみで、減少数は3人となっている。

また地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町各総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	25,099	1	菊川市	8.01	1	浜松市	1,738	河津町	3
2	静岡市	10,618	2	吉田町	7.24	2	磐田市	777		
3	磐田市	8,528	3	湖西市	6.92	3	静岡市	602		
4	富士市	5,691	4	袋井市	5.99	4	富士市	482		
5	袋井市	5,266	5	牧之原市	5.64	5	沼津市	391		

(注)  内の数字は前年の順位

図 1 1 市町別外国人人口割合（令和5年10月1日現在）

